

「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 生駒小学校)



実施期間

2019年 4月13日 ~ 4月26日

実施内容

「本となかよくなろう 本と出会う春」

1 図書ボランティア「としょックス」の活動

■「子ども読書の日」にちなんで、全校の児童にむけて「としょックス新聞」を発行した。今回は、「目・芽・め・メ いろんな め!」をテーマに特集が生まれ、「め」に関する多くの本が紹介されていた。

■4月17日(水)には、今年度最初の「としょックス」の方による読み聞かせを行った。(1年生から4年生の全クラス)これは、1年生から6年生までの全学年に継続して取り組んでいる活動であり、子どもたちも楽しみにしている。

2 図書委員会の児童の活動

■4月16日に委員会を発足し、年間活動計画を立てた。

特に、新学期の4月は、全校のみんなが本をたくさん読めるようなアイデアを出し合った。

① 「ぼくの・わたしのおすすめの本」コーナー

図書委員会のメンバーが一人一冊おすすめの本を紹介する。あらすじと本の主人公や絵をカードに書き、掲示している。

② 絵本・紙芝居の読み聞かせ

図書委員会の子どもたちが、月一回、朝の読書タイムの時間を利用して、低学年に大型絵本や紙芝居の読み聞かせをしている。5年生は2年生へ、6年生は1年生の各教室に行き、年間を通じて活動を行っている。

③ 11月の読書月間にむけて

子どもたちが、たくさん本を読むことができるように、11月は読書月間とする予定である。図書委員会の子どもたちは、読書啓発につながるしおり作りを行う。また、学校図書館司書と協力して、「絵本のひろば」を開催する予定である。

児童生徒の様子

・「としょックス」と図書委員会の読み聞かせ活動は、数年次継続されているので、子ども達は大変楽しみにしている。
・「ぼくの・わたしのおすすめの本」コーナーには、図書室に來たり、通りかかった子どもたちが見ており、読書への意欲づけの一助になっている。

備考

・学校図書ボランティア「としょックス」の活動(1年生:毎水曜日朝、2年生:毎月2回の水曜日朝、3・4年生:毎月1回の水曜日朝、5・6年生:每学期1回の水曜日朝、毎木曜日中休み 図書室での読み聞かせ)

「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 生駒南小学校)



実施期間

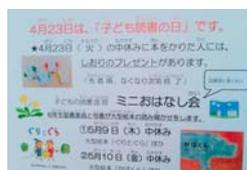
2019年 4月23日 ~ 5月10日

「本と出会おう」

○学校司書の取り組み

学校司書の勤務日にほぼ全クラスの図書の時間を位置づけ、低学年の図書の時間には読み聞かせを行っている。

1年生の初めての図書の時間には、並び方の決まりや利用の仕方などを知ってもらう図書室オリエンテーションを行った。他学年についても授業中に図書室を利用した学年には読みきかせやオリエンテーションをした。



今年度も、教職員に「子ども読書の日」と「こどもの読書週間」について知らせ、中休みに「ミニおはなし会」を2回企画し、図書委員と一緒に大型絵本の読み聞かせを行った。(5/9「ぐりとぐら」「サンドイッチ サンドイッチ」、5/10「かばくん」「きよだいな きよだいな」)また新しく入った本の展示、季節の本の展示をして、児童がより良い本を手にとることができるよう工夫した。

実施内容

○委員会の取り組み

学校司書とともに「ミニおはなし会」で大型絵本の読み聞かせを行った。事前に、低学年に伝わりやすい読み方を工夫し、持ち方やめくり方などを練習した。



←手作りしおり



↑練習の様子

子ども読書の日(4/23)の中休みには、本を借りた人に、手作りしおりをプレゼントした。

児童生徒の様子



- ・今年度より、本の貸し出しを1週間一人2冊までに変更した。一度に2冊借りられることを喜んで、シリーズものをよく手に取っている。
- ・2回行ったミニおはなし会では、それぞれ20~30名前後の児童が来室し、学校司書と図書委員による大型絵本の読み聞かせを楽しんだ。担当した図書委員は、低学年に読み聞かせをする楽しさや喜びを感じることができたようだ。
- ・展示コーナーで、新しい本や季節の本を手にとる児童の姿が見られた。また、多くの児童が図書室に来てくれることが図書委員にとっての喜びになり、4月から新しく始まった委員会の仕事に意欲的に取り組んでいる。
- ・児童の心にとまるような本の展示や掲示を工夫したり、学校司書が児童と本を通して丁寧に関わったりすることで、より魅力ある図書室づくりをすすめていきたい。

備考

「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 生駒北小中学校)



実施期間

2019年 4月23日 ~ 5月12日

実施内容



「読書タイム・学びタイム」

◆図書の日(小学校)

子ども読書週間と同時に、1年生の図書の時間が始まりました。読み聞かせの時間もあり、みんなで1冊の本を楽しみました。



◆読書タイム(小学校)

6月の読書タイムに、図書委員の5・6年生が1年生に大型絵本などの読み聞かせを行う予定です。



◆学びタイム(中学校)

学びタイム読書も始まりました。学年ごとに図書室で読書をしています。

◆2冊貸出(小学校)・5冊貸出(中学校)

10連休前の1週間は、「連休に本を読もう!!」と、いつもよりたくさん本を借りるこ

とができました。

◆図書委員会(小学校)

図書館から移管されたブックリスト絵本の受入作業を行いました。図書室にブックリストのコーナーを作成しました。絵本と1~6年生の本がそろいました。



児童生徒の様子



1年生も2冊貸出に大喜びでした。小中学校の図書室なので、広くて蔵書数も多いのですが、教室から一番近いこともあり、図書室にも慣れてきました。

期間中に図書委員会の活動も始まり、中休みや昼休みはもちろん10分休みにも図書室に来るほど頑張っています。

小学生から利用していた中学1年生も、中学生になると借りられる数が増えることもあり、読書の幅が広がるようです。

備考

「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 生駒台小学校)



「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 生駒東小学校)



実施期間

2019年 4月22日 ~ 5月10日

「校長先生に読み聞かせをしてもらおう」

対象学年:2年

図書室に入って、校長先生に本の読み聞かせをもらった。

「さんまいのおふだ」「ひやくにんのおとうさん」「うみやまがっせん」

放送:全学年

読書をすることで主人公になったつもりで冒険ができたり、続きが気になってわくわくしたりすることができる。文章を書く力がつくなど、図書委員が読書のいいところ考え、放送を行った。

実施内容



児童生徒の様子

子どもたちは楽しみにして図書室に入った。話もとても面白く、終わった後は「めちゃめちゃ楽しかった」と言っていた。次回はいつあるのかと楽しみにしてくれているようであった。

備考

「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 真弓小学校)



「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 俵口小学校)



実施日

2019年 5月13日 ・ 5月21日

実施内容

「 図書室へようこそ 」

◇図書室オリエンテーション

最初の図書の時間に紙芝居とクイズで図書室の使い方を紹介し、図書室のマナーや本の扱い方・本のさがし方を伝える。みんなが気持ちよく図書室がつかえるようにすること、本には色々な分類がありその分類を手掛かりに本を探することができることなどを知り、読書のきっかけ作りになることを目的とする。



◇図書委員会の取組

それぞれの『おすすめポイント』を書いた本紹介を制作！22名それぞれ「ものしりになりたいとき」「ドキドキしたいとき」「頭をつかいたいとき」など、たくさんの種類の本を、アイデアを出してカラフルに本紹介を作り、壁に掲示する。



◇おはなし会の実施

5月21日(火)昼休みに図書室で学校司書による「おはなし会」を実施予定。奈良に伝わる昔話を紙芝居でおこなう。

「帯解の龍」

奈良のむかし話を伝承する会より

児童生徒の様子

・廊下に掲示している紹介文や掲示を読んで本を借りに来たり、新しい本だけでなく、はじめてのジャンルに挑戦して借りに来たりする児童が多く見られる。

備考

「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 鹿ノ台小学校)



「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 桜ヶ丘小学校)



実施期間

2019年 4月23日 ~ 5月12日

実施内容

「ようこそ!!としょしつへ」



◆図書の日

子ども読書週間と同時に、1年生の図書の日が始まりました。自分で本を1冊選んで借りることができるようになりました。読み聞かせの日もあり、みんなで1冊の本を楽しみました。



1年生から図書室で本に親しむようになり、次年度へと学習は続いていきます。図書室では、本の貸出と1人読みの時間、読み聞かせの日を設けています。

◆2冊貸出

10連休前の1週間は、「連休に本を読もう!!」ということで本を2冊借りることができました。

◆図書委員会

図書館から移管されたブックリスト絵本の受入作業を行いました。本を1年生の各クラスに運び、学級文庫として本に親しんでもらうことにしました。図書館から運ばれた1~3年生向けの本も受入作業の後、図書室に下学年用として1つのコーナーを作成しました。



児童生徒の様子

期間中に、5, 6年生の図書委員会の活動が始まりました。2冊貸出ということもあって、休み時間の貸出が多くて大忙しでした。期間中の2冊貸出は好評で、子どもたちは違うジャンルの本を選んだり、いろいろ考えて本を借りていました。

ほとんどの児童が、図書の日毎週本を借りています。高学年の児童は、図書の日だけではなく、休み時間に図書室を訪れ、読みたい本を借りています。



備考

生駒市図書館に依頼して、全学年で毎学期おはなし会やブックトークを行っています。5月下旬に1・4年生に実施し、ブックリストを配布する予定です。

「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 あすか野小学校)



実施日

2019年 4月23日

実施内容

「おじさんのかさ」

はじめの「おじさんのかさ」のように自分のことをそっとしまいこんでおくのではなく、小学校に入学して、雨の日にさした「おじさんのかさ」のようにこれからも友だちといっぱい遊んだり、時には失敗したりして、学んでいってほしいという願いから、大人も楽しめるロングセラーの絵本『おじさんのかさ』を選んで、帰りの会の時間に子どもたちに読み聞かせのプレゼントをしました。



児童生徒の様子

子どもたちは、この絵本のことを気に入ってくれたようで、最後まで集中してこのお話をじっとして聞いている子や、このお話を聞きながら思ったことを友だちと小さな声で話す子や、自分だったらどうするかなどと考えながら聞いている子などいろいろな自分なりの聞き方をして、この絵本の世界にひたっているようでした。

雨の日にかさをさすたびにこの『おじさんのかさ』の絵本のことを思い出してほしいなと思います。

備考

「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 壱分小学校)



実施日

2019年 4月26日

実施内容

「読み聞かせをしよう～学年グループでシャッフル！」

壱分小学校では、毎朝8時30分から10分間、全校で朝の読書をしている。子どもたちは開始のチャイムが鳴る前から準備をし、読み始めている子も多く、静かに読書をすることが定着している。「子ども読書の日」の取り組みとしては、数年前から「読み聞かせをしよう～学年グループでシャッフル！」をしており、毎年子どもたちからも先生方からも好評を得ている。今年も同じように実施することにした。

1～6年の学級担任の先生、専科、少人数指導の先生、特別支援学級の先生、養護の先生、管理職の先生も含めた全職員を6つの学年グループに分け、どのクラスで読み聞かせをするのか、と、写真係を相談して決めた。読み聞かせをすることになった先生は、子どもたちに読んであげたい本を決めておく。どんな本にしたらいいか悩んだときのために、図書館司書の先生に「図書館司書の先生おすすめの本コーナー」の本棚を職員室に用意していただいた。同じ学年でも絵本、物語、科学もの、食べ物などいろいろなジャンルに渡った本を選んだ。

児童生徒の様子

- ・校長先生や教頭先生に本を読んでもらえたことは、子どもたちには新鮮であったようで教室に入ったときから喜びの声が上がった。
- ・時々歓声を上げたり展開を予想したりしながら、興味を持って聞いてくれていた。
- ・主人公に共感したり、気持ちを考えたりしながら聞いてくれているのがわかった。
- ・もう一度読んでほしいという声がたくさんあがった。



備考

毎年、全職員で行っているこの読み聞かせは、本に親しむ場であるとともに、新しい先生とのよい出会いの場にもなっている。これからも、この機会を大切にしたい。

「子ども読書の日(4月23日)」の取組

学校名(生駒市立 生駒南第二小学校)



実施期間

2019年 4月 23日 ~ 5月 10日

実施内容

「昔話で世界を巡ろう」

・全学年が聞けるように、期間中、図書の時間に加え、給食時に10分程度の短い昔話の読み聞かせを数回放送。子どもたちがより興味を持って聞けるための工夫として、司書だけでなく先生方にも読み手として協力してもらった。



・図書室では、昔話の本を展示し、地球儀や大きな世界地図も置いて、読み聞かせをした昔話の国の場所が確認できるようにした。

・入学したてでまだ図書室の利用ができない1年生には、朝の時間に教室での読み聞かせを行った。



〈そのほか〉

図書室の利用案内オリエンテーション(1年生対象)

児童生徒の様子

・放送中は、給食を食べる手が止まるほど集中して聞いている学年もあったようだ。
・担任の先生が読み手となると、子どもたちはとてもうれしそうで、集中して楽しんで聞いていた。

・図書室に来て、放送したお話を探す子や、「今日も、放送する?」と楽しみにして聞いてくる子、「昨日は、給食食べ終わってたから、ゆっくり聞けた。」と話す子もいた。

・昔話は、子ども自身がなかなか手に取って読むことは少なく、最近は昔話を知らない子も目立ってきている。家庭や地域で長年語り継がれてきた昔話は、読むよりも聞いて、子どもから大人まで楽しめるものなので、今後も継続していければと考える。

備考